

2年	1100	アメリカの文化と言語Ⅱ (2単位)			履修方法	SR/留学
科目概要	科目分類	総合	必修・選択	社会福祉専攻・国際福祉心理専攻 共通選択		
<p>読解力、文章力、聴解力、会話力の四技能を、基本的なレベルから、より高いレベルへとさらに一步向上させるため、また、表現力の幅を広げるため、様々な補助教材を多々使用して、英語に触れていく。また教材を通して、英語という言語の特徴(発音、文法、語用法等)や、アメリカの文化事情に精通することを目指す。異文化コミュニケーションを全体の主なテーマとして、場面に応じた、適切な意思伝達ができるようにする。</p>						
レポート設題	設題数	1題	枚数	適宜	形式	横書 用紙 罫線
<p>【設題1】 UNIT7「Dr. Jack Kevorkian」について日本語で要約した上で、あなたの考えを述べなさい。</p> <p><ポイント></p> <p>Dr. Jack Kevorkian は、アメリカミシガン州の医師である。彼は、終末期を迎えたある患者に対しての安楽死の幫助(ほうじょ)の罪に問われ、裁判の結果、10~25年の有罪判決がくだった。Dr. Kevorkian は、病気の人々の尊厳死を強調し、彼らを耐え難い痛みから解放することを主張している。人間の命に対して最後の決定をくださるのは、医師か、患者自身か、それとも患者の家族なのか、医の倫理とは何かを考察すること。」</p> <p>科目終了試験学習のポイント</p> <p>20のユニットをしっかりと学習しておくこと。本文をよく読み、各ユニットでアメリカの文化の特徴や内容をしっかりと把握し、エッセイの中で使われている表現や語句を用いて練習問題を解いたり、英文を和訳したり、エッセイを十分に理解すること。</p>						
教科書	Celebration of America ピーター・セラフィン他著 三修社					
参考文献	安楽死と尊厳死 保坂正康著 講談社現代新書					